

研究機関：広島大学

研究課題名	髄芽腫に対するICE（イフォマイド、シスプラチン、エトポシド）療法 での骨髄抑制および治療強度調整とやせの程度に関する疫学研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科脳神経外科学 教授 栗栖 薫
研究期間	平成 29 年 4 月 19 日～平成 30 年 12 月
対象者	平成 21 年 1 月から平成 27 年 6 月の間に、広島大学病院脳神経外科でICE療法による化学療法を受けられた髄芽腫および類似脳腫瘍の患者。
意義・目的	成人の固形癌については、肥満の患者において骨髄抑制などの副作用が軽くなる傾向や、副作用の程度が除脂肪体重と逆相関するということが分かってきました。しかし、小児脳腫瘍において、やせている患者により強く骨髄抑制が出現するかどうかについては、まだ解明されていません。今回、患者の体格と骨髄抑制の程度、投与した抗がん剤の量や治療期間との関連などを調べることで、この問題を明らかにする目的でこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、性別、血液検査、抗がん剤の投与量、抗がん剤治療の間隔、手術記録、病理診断、放射線照射記録、経過中のMRI画像所見です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 医科診療医 高安 武志